

- ◇ 日本学術会議主催学術フォーラム「地殻災害の軽減と学術・教育」の開催について（ご案内）
- ◇ 日本学術会議九州・沖縄地区会議学術講演会「かごしまの『水』を考える - 鹿児島大学水研究最前線 -」の開催について（ご案内）
- ◇ 日本学術会議中部地区会議学術講演会「大学からの知の発信 ～文理融合の視点から～」の開催について（ご案内）

■ 日本学術会議主催学術フォーラム「地殻災害の軽減と学術・教育」の開催について（ご案内）

- 1 主催：日本学術会議
- 2 開催日時：平成25年11月16日(土) 10:00～17:00
- 3 開催場所：日本学術会議講堂
- 4 趣旨
東日本大震災の後、地震学・火山学を中心とした自然科学分野と実学としての人文社会科学の相互連携の必要が明瞭となっている。本学術フォーラムは、どのような研究計画と学術体制が必要になっているかについて討議等を行う。
- 5 次第（予定、交渉中のものも含む。）
開会挨拶、趣旨説明
佐竹 健治（日本学術会議連携会員・地震学、東京大学地震研究所教授）
「歴史地震・津波の研究と大地震の長期予測」
中田 節也（日本学術会議連携会員・火山学、東京大学地震研究所教授）
「低頻度大規模噴火に備えた研究のあり方」
熊木 洋太（日本学術会議連携会員・地理学、専修大学文学部教授）
「地殻災害軽減にむけた地理学の役割」
伊藤 谷生（地質学、帝京平成大学現代ライフ学部教授）
「地殻災害軽減の基礎を担う地質学」
平川 新（歴史学・文献、東北大学災害国際科学研究所長）
「地震・津波に関する歴史研究と災害科学研究のあり方」
田中 広明（歴史学・考古、埼玉県埋蔵文化財調査事業団主査）
「弘仁地震の被害と復興、そして教訓」
林 春男（日本学術会議連携会員・防災行動学、京都大学防災研究所巨大災害研究センター教授）
「地殻災害軽減のための防災研究の枠組み」
宮城 豊彦（地理学・防災教育、東北学院大学地域構想学科教授）
「東日本大震災におけるハザードマップとGISを活用した自然地理・防災教育の実践」

閉会挨拶

- 参加費：無料
- 申し込み：不要、当日先着順
- 問い合わせ先
日本学術会議事務局企画課学術フォーラム担当
〒106-8555東京都港区六本木7-22-34
電話：03-3403-6295/FAX：03-3403-1260

■ 日本学術会議九州・沖縄地区会議学術講演会「かごしまの水を考える - 鹿児島大学『水』研究最前線 -」の開催について（ご案内）

- ◆ 日 時：平成25年11月18日（月）14:30～17:00（14:00開場、途中休憩あり）
- ◆ 場 所：鹿児島大学稲盛会館【キミ&ケサ メモリアルホール】
（鹿児島市郡元1丁目21-40）
- ◆ 主 催：日本学術会議九州・沖縄地区会議
- ◆ 共 催：鹿児島大学、大学地域コンソーシアム鹿児島
- ◆ 後 援：鹿児島県教育委員会、鹿児島市教育委員会、

公益財団法人日本学術協力財団

◆次第:

14:30~14:40 開会挨拶

家 泰弘 (日本学術会議副会長、東京大学物性研究所教授)
前田 芳實 (鹿児島大学長)

14:40~16:55 講演

「いのち育む水資源と水循環」
～池田湖の水利用と島嶼の地下水資源について～
梶井 和朗 (鹿児島大学農学部教授)

「水と災害」
～火山地域の水の流れと土砂災害について～
地頭菌 隆 (鹿児島大学農学部、地域防災教育研究センター教授)

「水と生活」
～南九州における赤潮およびアオコ等による水環境汚染について～
前田 広人 (鹿児島大学水産学部教授)

16:55~17:00 閉会挨拶

箱田 裕司 (日本学術会議九州・沖縄地区会議代表幹事)

- 入場無料、どなたでも参加できます。
- 詳細はこちら
<http://www.scj.go.jp/ja/event/pdf2/177-s-1118.pdf>
- ご来場にあたっては公共交通機関をご利用願います。
(市営バス: 法文学部前下車、市電: 工学部前電停下車)
<http://www.kagoshima-u.ac.jp/access/index.html>
- お問い合わせ先: 鹿児島大学研究国際部研究協力課
TEL 099-285-3224 FAX 099-285-7037
kenkyo@kuas.kagoshima-u.ac.jp

日本学術会議 中部地区会議学術講演会
「大学からの知の発信 ～文理融合の視点から～」の開催について(ご案内)

- ◆日時: 平成25年11月20日(水) 13:00~16:00
- ◆場所: 名古屋大学物質科学国際研究センター2階野依記念講演室
(名古屋市千種区不老町) 【東山キャンパス】
- ◆主催: 日本学術会議中部地区会議
- ◆共催: 名古屋大学
- ◆次第:
13:00~13:10 開会挨拶
濱口 道成 (名古屋大学総長)
13:10~13:20 主催者挨拶
巽 和行 (日本学術会議中部地区会議代表幹事、
名古屋大学物質科学国際研究センター特任教授)
13:20~13:30 科学者との懇談会活動報告
丹生 潔 (中部地区科学者懇談会幹事長)
13:30~15:55 講演
「磁石、磁力、磁場 — 魔術から現代科学への道程」

家 泰弘（日本学術会議副会長、東京大学物性研究所教授）

「フランスにおける自由主義の系譜」

安藤 隆穂（名古屋大学高等研究院長、大学院経済学研究科教授）

「創薬とヒトの分子レベルからの理解を目指して」

藤吉 好則（日本学術会議第二部会員、
名古屋大学大学院創薬科学研究科特任教授）

「言語の意味と構造」

町田 健（名古屋大学国際教育交流センター長、大学院文学研究科
教授）

- 入場無料、どなたでも参加できます。
- 詳細はこちら
<http://www.scj.go.jp/ja/event/pdf2/179-s-1120.pdf>
- アクセス
地下鉄 名古屋大学駅 2 番出口より徒歩 5 分
- お問い合わせ先：日本学術会議中部地区会議事務局
（名古屋大学研究協力部研究支援課内）
TEL：052-789-2039 FAX：052-789-2041

添付ファイル付メールの自動暗号化について

内閣府の情報セキュリティ強化の方針に基づき、本年10月17日以降当事務局から送信する添付ファイル付メールについては、添付ファイルが自動暗号化される場合があります。メールに添付されているファイルを開く際、パスワード入力画面が表示される場合は、並行して届くメールに記載されているパスワードをご入力ください。

既に添付ファイルを開けない旨ご連絡をいただいた会員、連携会員の皆様につきましては、余計なご負担をかけないよう、事務局内で個別に自動暗号化を解除する方法で送信するよう周知しております。
場合によっては、手違いにより自動暗号化された添付ファイル付メールが送られる恐れがあります。その際は、大変お手数ではございますが、事務局までご連絡いただきますよう、お願いいたします。

（ご連絡・お問い合わせ先）
日本学術会議事務局企画課情報係
E-mail:p228@scj.go.jp 電話：03-3403-6295

★-----★
日本学術会議では、Twitterを用いて情報を発信しております。
アカウントは、@scj_info です。
日本学術会議広報のTwitterのページはこちらから
http://twitter.com/scj_info

★-----★

学術情報誌『学術の動向』最新号はこちらから
<http://www.h4.dion.ne.jp/~jssf/text/doukousp/index.html>

日本学術会議ニュースメールは転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らいください。

発行：日本学術会議事務局 <http://www.scj.go.jp/>
〒106-8555 東京都港区六本木7-22-34